第2回 観光甲子園

高校生の観光企画募る
応募締め切りは7月9日

第2回全国高校生観光プランコンテスト「観光甲子園」が8月29日に神戸夙川学院大学（神戸市中央区）を会場に開催される。主催は、観光関連団体で組織した同大会組織委員会。共催は、神戸夙川学院大学（観光文化学部）。後援は、文部科学省や観光庁ほか観光関連団体や教育機関など。今回の募集内容や第1回の結果を紹介する。

観光プランコンテスト ピールし、実際に商品化 コンテスト。「観光立国の観光甲子園は、高校生 をめざすことのできる地 日本」を担う人材育成を が主役となって地域をア 域観光プランを募集する めざす試みの1つとして

観光甲子園でのプレゼンテーション風景

第1回は69校が参加
旅行商品化された企画も

第1回の全国高校生観 岐島前高等学校の「ヒト 光プランコンテスト「観 ツナギ～人との出会いか 光甲子園」では、全国69 ら始まる君だけの島前三 の高等学校から157プ 島物語」、観光庁長官賞 ランが集まった。昨年8 には横浜市立みなと総合 月23日に神戸夙川学院大 高等学校の「あなたもス 学で開かれた本選には、 ターに ヨコハマ・シネ 10校が進出。パワーポイ マ・スター・ツアー」が ントなどを利用して各校 選ばれた。 自信の観光プランをプレ 島根県立隠岐島前高等 ゼンテーションし、競い 学校の「ヒトツナギ～人 合った。 との出会いから始まる君 グランプリの文部科学 だけの島前三島物語」は、 大臣賞には、島根県立隠 従来の物見遊山の観光か ら離れ、地元の学生と、 島外の学生、隠岐の地元 住民との出会いや交流を 中心にした観光プラン。 過疎化が進む隠岐と廃校 の危機に迫られている同 高校の再生にまで踏み込 んだ内容。また、同高校 には都会の進学校で不登 校となり、同校に転校し てきたことで、普通の高 校生活を取り戻した在学 生がおり、その経験も観 光プランには生かされ た。

観光プランは、4泊5日の長めの行程。鳥取県の境港からフェリーで隠岐諸島に入る。

参加した学生は地元学生と2人1組のペアとなり、期間中行動を共にする。行動は、「指令書」形式で指示され、島内でしかできないさまざまな事柄に挑戦していく。漁村でのイカの干物作りや漁船のヒッチハイクのほか、農家民泊や仔牛の出産への立ち会いなどを体験しながら、地元住民との交流を深める。

旅行終了後には、参加者の自宅に旅の思い出をまとめたアルバムが贈られる。

同プランは、3月26日から30日まで、モニターツアーも行われた。

横浜市立みなと総合高等学校の「あなたもスター に！ヨコハマ・シネマ・スター・ツアー」は、ロケ地として映画やドラマ、雑誌に登場することが多い横浜を、俳優やタレント気分を味わいながら観光するプラン。観光地で撮影した参加者の映像や写真が入ったDVD、ポスター、パンフレットが旅行終了後に自宅へ届けられる。行程は、旅行というよりまさに撮影スケジュールで、1日4回の撮影を行う。1回目は赤レンガ倉庫で刑事ドラマ風のシーンを撮影。2回目は中華街でグルメ番組風の映像を撮影し、昼食も兼ねる。3回目は山下公園で音楽プロモーションビデオ風の映像を撮影。4回目はフィナーレシーンとして、エキストラも登場する大掛かりな映像を撮影する。また同校の場合は、表現力や時間制限など学生の高いプレゼンテーション能力も評価された。

観光甲子園本選の講評で石森秀三・同組織委員長（北海道大学観光学高等研究センター長）は、「隠岐島前高等学校は、人とのつながりに重点を置いたプランで、特に大都市圏の若者をターゲットにした高校生らしいプラン。みなと総合高等学校のプランは、フィルムツーリズムで、次代のツーリズムとして評価した。都会でありながら、郷土愛があった。高校生のプランから今後の観光の新しいあり方を読み取れた。旅行会社には何らかの形で商品化を実現してほしい」と話した。

また準グランプリに選ばれた栃木県立那須高等学校の観光プランがJR東日本の「駅からハイキング」に採用され、商品化が実現している。

島根県立隠岐島前高等学校のプランの1コマ

全国の高校生を対象に行われている。

昨年初めて開催され、全国69の高等学校から157プランの応募があった。

今回も高校生が地元地域の自然や歴史、文化を再発見し地域のさまざまな人と協力しながら創造する地域発の観光プランを募集する。また、観光プランは実際の旅行商品として実現可能性が高いことが望ましいものとされている。今回のテーマは「ディスカバーマイタウン・マイエリア」。地元の町や地域の発見にスポットを当てた。

選考は、予選で書類審査が行われ、本選に進むと会場で、パワーポイントやOHPなどを利用して応募プランのプレゼンテーションで競い合うことになる。

審査基準は、①企画の視点が斬新か②地域魅力の打ち出し、波及効果、地域の魅力が効果的に盛り込まれ活性化するプランになっているか③消費者視点で、来訪者にとって魅力がある観光プランになっているか④採算性、費用対効果が適切か⑤企画に説得力があり論理的か――の5点。

グランプリ2校には、文部科学大臣賞（副賞旅行券30万円）、観光庁長官賞（同旅行券20万円）、準グランプリ3校には、大会組織委員会長賞（同旅行券10万円）、兵庫県知事賞（同旅行券10万円）、神戸市長賞（同旅行券10万円）が贈られる。他にも優秀作品賞として、日本観光協会長賞、日本旅行業協会長賞、全日本旅行業協会長賞、日本ツーリズム産業団体連合会長賞、西宮市長賞などが用意される予定。

対象は全国の高等学校の3年生まで。3人以上の連名で申請（グループで議論しプランニングしたもの）。学校長の推薦があることで、1校当たり最大3プランまで応募できる。

期間は4月1日から7月9日まで、参加作品を募集。7月20日に予選審査の結果を発表する。また本選出場校の参加旅費などについて1校5人まで（付き添い教員を含む）支援される。

応募方法詳細は観光甲子園ホームページ（http://www.kobeshukugawa.ac.jp/kanko-koshien/）または、（☎078・940・1154）。

注目の海外修学旅行先

台湾

Tour Taiwan 旅行台湾・感動100

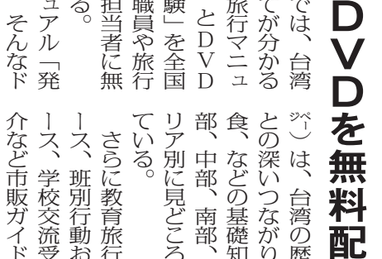
時差：日本より1時間遅れ
人口：約2282万人
面積：3万6188平方キロメートル（九州と同じくらい）
気候：北部は亜熱帯気候、南部は熱帯気候
公用語：中国語（北京語）
通貨とレート：ニュー台湾ドル（元）、1元＝約2.9円（10年3月現在）

2年間で2倍強の伸び
海外修学旅行で台湾の人気上昇

日本の対台湾窓口機関である交流協会が3月23日に発表した「台湾における対日世論調査」の調査結果によると、「最も好きな国は」との問いに対して、実に52％が日本と回答。2位の米国（8％）に大差をつけた。台湾には世代を超えた親日感情の高さがある。「哈日族（ハーリーツゥ）」という「日本フリーク」「日本好き」の若年層を指す言葉もあるくらいだ。

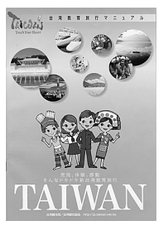
学校間交流については、06年度の台湾訪問校33校の58％にあたる19校が実施。08年度では55校の65％にあたる36校が行った。台湾の高級中学（日本の高校）における修学旅行人数は2年間で2・2倍に増えている。

文部科学省が隔年で行っている調査「高等学校等における国際交流等の状況について」によると、08年度に台湾への修学旅行を実施した高校は55校で参加者数は8024人。内訳は、公立学校が31校・5174人、私立学校が24校・2850人となっている。前回調査の06年度分では、全33校・3622人。内訳は公立学校16校・2234人、私立学校17校・1388人だった。


校内見学の一場面

海外修学旅行の行き先としての台湾は、06年度は人数ベースで11位だったが、08年度はカナダ、ニュージーランド、フランス、イギリスを抜いた。オーストラリア、アメリカ、韓国、シンガポール、マレーシア、中国に次ぐ7位に浮上した。

背景には、台湾の人々の親日性の高さや学校間交流の支援体制が整っていることなどが挙げられる。



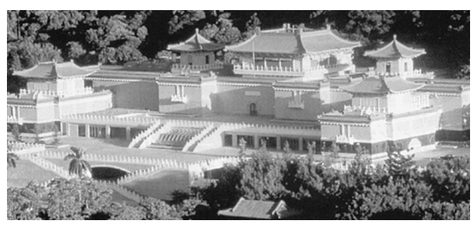
冊子、DVDを無料配布

台湾観光協会では、台湾の歴史、日本との深いつながり、台湾の食、などの基礎知識や、北部、中部、南部、東部のエリア別に見どころを紹介している。

さらに教育旅行モデルコース、班別行動おすすめコース、学校交流受入学校紹介など市販ガイドブックに載っていない情報も満載。教育旅行のバイブル的存在だ。

DVD「感動！台湾体験・台湾教育旅行案内」は、実際の学校間交流の様子を映像で紹介。神奈川県立清陵総合高等学校の生徒たちが3泊4日の修学旅行で台北県中和市の国立中和高等中学校（日本の高等学校に相当）を訪問し、両校の生徒たちが笑顔で交流する生の姿が収められている。

DVDの中で同校の岡崎珠箇校長は「ほとんどの生徒が初めての海外旅行だった。言葉の壁を越えた、異文化の生徒たちとの交流は、これからのグローバル社会を生きていく彼らにとって貴重な経験となった」と語り、台湾への修学旅行実施の意義と成果を強調している。


故宮博物院

台湾観光協会
ホームページ　http://taiwan.net.tw/
■東京事務所
〒110―0003東京都港区西新橋1―5―8
川手ビル3階
TEL：03―3501―3591 FAX：03―3501―3586
■大阪事務所
〒530―0047　大阪府大阪市北区西天満4―14―3住友生命御堂筋ビル6階
TEL：06―6316―7491 FAX：06―6266―7398

HAWAI'I
Hawai'i Tourism Japan
ハワイ州観光局
アメリカ合衆国ハワイ州
時差：マイナス19時間
人口：約120万人
面積：1万6634平方キロメートル
気候：熱帯・亜熱帯気候に属するが、地球上に存在する13の気候帯のうち11の気候帯を有する
公用語：英語
通貨：ドル

ハワイは学習素材の宝庫
歴史や自然、現地校との交流も

「ハワイは観光やレジャーで遊びに行くところでは」「学習効果が期待できないのでは」「旅行費用が高いのでは」と思われていないだろうか。教育旅行先として見たハワイには5つのポイントがある。

①治安、衛生面が良い②研究材料や学習素材が多い③年間晴天率が70％と気候が良い④日本語が通じやすい⑤渡航費用が高くない。

実際は教育旅行に必要な学習素材が豊富にそろっており、修学旅行で訪れる学校数は各種調査でも常に上位に入っている。渡航費用も高いと思われがちだが、実際には10万8千円から（平成20年度、財団法人日本修学旅行協会調べ）と、他のデスティネーションと比べてもそれほど高くないことが分かるだろう。

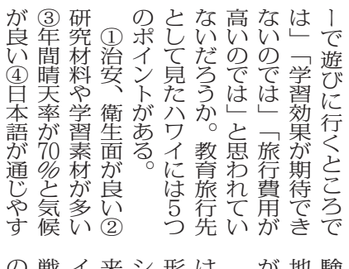
学習素材は大きく分けると①歴史を学ぶ②文化を体験する③自然にふれる④現地学校との交流――の4つがある。

歴史を学ぶ―ハワイ諸島は海底火山の噴火によって形成され、その後、ポリネシア人の上陸、外国人の到来、移民の受け入れ、ハワイ王朝終焉、第二次世界大戦、ハワイ州誕生、観光業の成長と激動の歩みを続けている。これら多様な歴史の足跡がハワイには今も数多く残っている。オアフ島のダウンタウンにはハワイならではの歴史を物語る建造物（イオラニ宮殿、カメハメハ大王像、ミッション・ハウス博物館など）が至近距離に点在しており、街を探索しながら歴史を学ぶことができるだろう。

「レイ」づくり体験

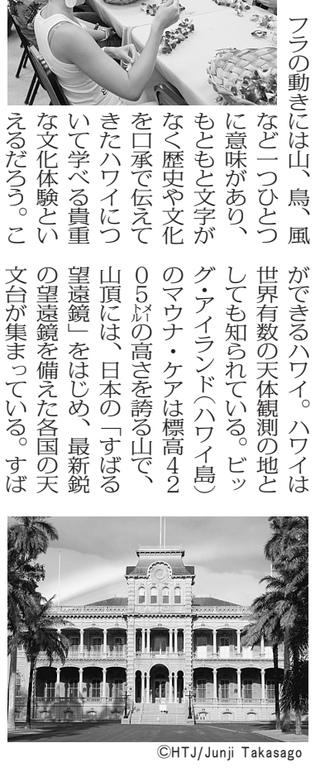
文化を体験する―古代ハワイから伝わる伝統や異民族の文化が混じりあい、独特の文化が生まれたハワイ。文化体験を通じ、ハワイの人々の生活を知るというのはいかがだろうか。例えば、レイ作り。「レイ」とは花や貝殻で作った首飾りや髪飾りのことだ。ハワイの生活には欠かせないものであり、もともとは自然崇拝の意味が込められていた。同じく古来より神々を崇めるための神聖な踊りとされてきたのが「フラ」。フラの動きには山、鳥、風など一つひとつに意味があり、もともと文字がなく歴史や文化を口承で伝えてきたハワイについて学べる貴重な文化体験といえるだろう。このような文化体験はビショップ・ミュージアムやクアロア牧場、ポリネシア・カルチャー・センターなどで体験できる。

雄大な自然の中で乗馬


天文台で宇宙を学ぶ

自然にふれる―大自然の魅力あふれる特徴を生かし、日本ではできない体験ができるハワイ。ハワイは世界有数の天体観測の地としても知られている。ビッグ・アイランド（ハワイ島）のマウナ・ケアは標高4205㍍の高さを誇る山で、山頂には、日本の「すばる望遠鏡」をはじめ、最新鋭の望遠鏡を備えた各国の天文台が集まっている。すばる望遠鏡は一般に公開されており、施設見学が可能だ（要予約）。マウナ・ケアでの天体観測で最前線の宇宙科学を学べば、きっと新しい発見、感動を呼ぶ体験となるだろう。

現地学校との交流―教育旅行の最も大きな目玉となるのが、現地の学校との交流ではないだろうか。お互いの文化を学び、コミュニケーションをとることで、より深く相互理解を図ることができるのが現地学校との交流の醍醐味だ。そして文化交流はもちろんのこと、環境問題や科学などに特化したプログラムを組むことも可能なので、事前に互いに合った日程とプログラムを見つけることが大切だ。


©HTJ/Junji Takasago
歴史を学ぶイオラニ宮殿

ハワイには、ハワイ語、フラ、ウクレレ、神話、ダイナミックな海や山、渓谷、植物や動物などハワイ独自の文化や自然が溢れている。かつて日本人移民を受け入れたという、歴史的にも日本と深いつながりがあるハワイは教育旅行先として最適なデスティネーションと言えるだろう。

ハワイ州観光局では、ハワイでの教育旅行、研修旅行に関する情報をまとめて紹介している冊子を用意している。

ハワイ州観光局ウェブサイト「http://www.gohawaii.jp」から旅行業界・メディア関係者向けのページに登録すると請求ができる。

神戸で観光を学ぶ
地域の観光関連産業の振興に役立つ人材を育成します

「観光振興に関するパートナーシップ協定」締結先
■松江観光協会 ■天橋立観光協会 ■古座観光協会（和歌山県串本町） ■琴平町観光協会 ■和束町 ■淡路市観光協会

第2回 全国高校生 観光甲子園

『観光甲子園』は、全国の高校生たちが、地元の名誉と誇りをかけて、“観光プラン”を競い合うコンテストです。どんなところが、いちばんの魅力なのか。どうすれば、その魅力が伝わるのか。実際にいろいろなスポットに行って、さまざまな人から話を聞いて、仲間と議論しながら、地元の人たちと協力しながら、地域の魅力を日本中・世界中の人々へアピールするプランを考えてください。

応募締切：2010年7月9日（金）

主催：『観光甲子園』大会組織委員会　共催：神戸夙川学院大学（観光文化学部）
後援：観光庁、文部科学省、社団法人日本観光協会、社団法人日本旅行業協会、社団法人全国旅行業協会、社団法人日本ツーリズム産業団体連合会、全国高等学校観光教育研究協議会、兵庫県、兵庫県教育委員会、ひょうごツーリズム協会、神戸市、神戸市教育委員会、財団法人神戸国際観光コンベンション協会、西宮市、西宮市教育委員会、神戸商工会議所、西宮商工会議所、兵庫県高等学校商業教育協会、関西高等学校観光教育連絡協議会（予定を含む）

KSGU KOBE SHUKUGAWA GAKUIN UNIVERSITY
神戸夙川学院大学
観光文化学部　観光文化学科（男女共学）
〒650-0045 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番11
TEL 078-940-1154　FAX 078-303-1561
www.kobeshukugawa.ac.jp
QRコードで簡単アクセス
受験生専用フリーダイヤル 0120-007-816

ACCESS MAP

JR「三ノ宮」駅、阪急・阪神・神戸市営地下鉄「三宮」駅より、ポートライナー約9分の「市民病院前（キャンパス前）」駅下車、徒歩約8分です。